

令和2年度教師用結果												
数字は% △:昨年度よりアップ ▼:昨年度よりダウン												
No.	評価内容	A+B(昨年度)	A	B	C	D	○成果 △改善点・課題等	A	B	C	D	総数
1	新型コロナウイルス感染症防止対策として、日常生活の指導、健康管理、新しい生活様式を踏まえた環境整備を実施している。(新)	90.9	81.8%	8.1%	9.1%	0.0%	○教頭の指導や養護教諭の専門的な意見、事務部の協力的な対応で、安全な環境づくりができた。 ○手洗いやマスク着用、換気、消毒などを全教職員が意識して取り組んだので良かった。 ○ギャラリーの遊び場使用を交代制にし、密を避けて利用することができた。 △マスク、手洗いなどは毎日の指導の成果もあり定着してきている。換気については寒くなってきておそくなる時もある。教室の常時換気のために上窓を開けることの周知・徹底が必要。	9	1	1	0	11
2	ヒヤリハットの集積や解決策の共通理解を通して、事故やいじめの未然防止を行っている。	100 (100)	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	○安全面について心配された点はすぐに対策を講じて、安全に活動することができた。	9	2	0	0	11
3	津山小学校と合同の避難訓練、安全マニュアルに基づく職員研修等を実施し、緊急時の対応に備えている。	100 (100)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	○生活部主導で、緊急時対応の職員研修を実施し、津山小との連携で避難訓練を実施できた。	11	0	0	0	11
4	児童・保護者の相談や地域の学校等からの要請に応じて、関係機関と連携し特別支援コーディネーターと巡回相談員を窓口にして相談事業等に努めている。	100 (100)	54.5%	45.5%	0.0%	0.0%	○児童が利用している放課後等ディサービス事業所からの求めに応じて、給食時の摂食指導の様子をビデオカメラで撮影し、指導法や工夫について情報を共有した。	6	5	0	0	11
5	個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成・活用し、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	100 (90.0)	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	△努力はしているが十分とはいえない。	5	6	0	0	11
6	集団生活の中で一人一人の力を発揮できるように指導・支援ができています。	100	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%		8	3	0	0	11
7	キャリア教育の視点から、経験の拡充を図り、生活年齢に合わせた体系的な学習に取り組んでいる。(新)	90.9	36.4%	54.5%	8.1%	0.0%	○小学部では日常生活面の自立がキャリア教育につながることを意識して取り組むことができた。食事や排せつ面などで伸びの見える児童が複数いる。	4	6	1	0	11
8	授業研究会の計画的な取組や研修等として学習指導の充実に努めている。	100△ (90.0)	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	○校内研究のやり方を負担軽減の方向で見直したが、せっかくの授業研に半数の職員しか関わらないので、研究そのものが深まっていない気がする。全体の財産とする工夫が必要。	7	4	0	0	11
9	学習指導要領に基づいた目標設定や3観点による評価について研修を深め、授業改善に努めている。(新)	90.9	54.5%	38.4%	9.1%	0.0%	△児童の思考力を生かす、伸ばす授業を仕組むことが十分にできていない。 ○体育で3観点チェック表を作成し、3観点に沿った目標を意識しながら取り組み、個別の指導計画に生かすことができた。	6	4	1	0	11
10	津山小学校との交流や地域交流等をおして、人との関わり方や自分の思いを伝える力を育んでいる。	100 (100)	18.2%	81.8%	0.0%	0.0%	○コロナ対応で制限のある中で、運動会だけでもでき、交流できる場があって良かった。 ○大型商業施設での作品展示、読み聞かせの会など新たな取組を実施し、地域交流を意識して行うことができた。 ○本校、分校との間接交流、津山小1年生、たんぽぽ学級との交流を行うことができた。	2	9	0	0	11
11	学校生活において、児童の運動量、活動量を十分に確保している。	100△ (90.0)	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	△体育の授業内容を検討してきているし、休み時間の運動量確保を意識して指導に当たっているが、全児童への目配りが必要である。 ○教員間で協力して準備等を行い、スムーズな流れで活動することで、運動量の確保に努めることができた。 ○体育や休み時間にグラウンドを活用し、教師も一緒に遊びながら運動量の確保に努めた。体を動かすことの楽しさを感じている児童が増えている。	4	7	0	0	11
12	教育相談の実施や地域の学校の授業研究会等での指導等、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。	100 (100)	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	○他校授業研究会への指導・助言(事前の相談・検討2校、当日の参観・事後研2校) ○新型コロナウイルス対策の影響で天童市内の学校では授業研究会が10月以降に延期された。そのため、授業研究会の指導・助言について依頼が少なかったものの、専門的な知見を含め丁寧に対応した。	8	3	0	0	11
13	地域の方との交流、地域回覧用の学校だよりの定期的な発行、学校紹介リーフレットの作成・活用により、天童校の情報を発信している。	100 (100)	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	○大型商業施設の作品展示は、地域の多数の方に天童校を知っていただく機会になり良かった。	10	1	0	0	11
14	会議や打ち合せの精選・適切な時間設定により、授業の準備や教材研究、研修等の時間の確保に努めている。また、在校等勤務時間管理を行い、より良い働き方に努めている。	90.9▼ (100)	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%	△会議の時間設定が良くないことが何回もあった。(授業研関係・教務計画段階)	7	3	1	0	11
15	全職員で情報を共有し、課題解決に向けて取り組んでいる。	100△ (90.0)	38.4%	63.6%	0.0%	0.0%	○一人の児童の課題について情報を共有し、担任のみならず担外も積極的に関わって改善できていることが増えている。 ○重なりや体調面などを考慮しながら、担当の調整を臨機応変に行って実践できた。協力的な先生方が多く助かった。	4	7	0	0	11